日本科学者会議岡山支部例会

★★よもやま話の会★★

生殖医療の現状と課題
卵子のはなし

中塚　幹也　氏

岡山大学大学院保健学研究科　教授

岡山大学病院産婦人科

と　き:　2013 年 6 月 17 日(月)17:30〜18:40

ところ:　岡山大学農学部1号館1階　第3講義室

厚生労働省研究班は，40 歳以上では体外受精の有効性が低いことから「現状の公的助成に年齢制限を設ける場合，39 歳以下とするのが望ましい」とする報告書をまとめ，不妊治療への公費助成についての制度改正の検討が始まっています．また政府は，女性を対象に 10 代から身体のメカニズムや将来設計について啓発する「女性手帳」（仮称）の導入を検討しており，医学的に 30 代前半までの妊娠・出産が望ましいことなどを周知するとされています．更に卵子提供を求めて海外渡航する女性の報道や，国内初の卵子バンクの設立の報道も続いています．卵子に関連する生殖医療の現状と課題について紹介します．

教員，学生，市民の皆様の多数のご参加をお待ちしております（参加無料）。

連絡先：岡山大学大学院環境生命科学研究科　農生命科学専攻　稲垣　賢二

電話：086-251-8299（直通），電子メール：kinagaki@cc.okayama-u.ac.jp